



勤務先 (株)オーイング 本社
伊須田 泉 さん
 (23歳・東市場)

現場で気持ちよく働ける環境に

昨年4月から警備や人材派遣などを手掛けるオーイング本社(高浜町)の総務部で勤務している伊須田さん。主に電話や来客への対応、企業の顔とも言える、警備などの現場で働く人たちの制服管理などを任されています。「入社当時は、社会人一年目で会社の代表電話をとることにプレッシャーを感じていた」と振り返り、「頼りになる先輩をお手本にしながら、最近では気負いなく対応できるようになってきました」とほほ笑みます。上司の部長も、「正面から仕事に向

き合い、何事もスピーディーで的確にこなしてくれている」と太鼓判。さまざまな部署の社員と関わり、情報交換をしながら、できる仕事を増やしていこうとしている伊須田さん。「地域の安全と安心を守っている現場の人たちが気持ちよく働ける環境づくりに貢献したい」と意気込みます。地元で働くようになり、人の温かさを改めて実感。「職場の環境に恵まれていることや、見守ってくれる家族がいることに感謝して、自分自身も成長していきたい」と話してくれました。



女子バレーボール部 キャプテン
畠中 希実 さん
 (小浜第二中学校3年生)

一体感生まれ楽しさ増した

バレーボール一家で育ち、小学4年生のときに地域のクラブでプレーを始めた畠中さん。「ボールを床に落とすと失点するため、ボールを拾い上げて、つながったときに達成感が得られる」と競技の魅力を語ります。畠中さんがキャプテンを務める小浜第二中学校の女子バレーボール部には2・3年生15人が所属。「個々のレベルが上がってきたことで、チームとしての一体感を強く感じるようになり、競技がどんどん楽しくなってきた」と笑顔をみせます。

若狭地区の選抜メンバーに選出され、キャプテンにも起用されるなど多彩な活躍をみせる畠中さん。顧問の山口先生は、「自分たちでチームを作るという意識が高く、部員を引っ張ってくれている」と目を細めます。目標に掲げているのは地区大会で優勝し、県大会へ出場すること。「165センチの長身を生かして、どんなトスでも打ち込める選手に成長したい」と意欲をみせ、「プレーで貢献してチームを勝利に導きたいです」と明るくハキハキと話してくれました。



雲浜獅子保存会 舞方
矢野 修平 さん
 (26歳・一番町)

小浜の祭りの魅力伝えたい

毎年5月に行われる小浜神社(城内一丁目)の祭礼「お城祭り」で奉納される「雲浜獅子」。矢野さんは、老若2頭の雄獅子が1頭の雌獅子を巡って争う物語で、主に若い雄獅子の舞方(舞い手)を務めます。「雲浜獅子は、姉妹都市の川崎市(埼玉県)から伝わった獅子舞に、京都など関西文化の影響も加わった、小浜独自のもの」と話す矢野さん。その素晴らしさを全国に広めたいと、稽古や県内外での出張公演の様子などを、SNSを通じて積極的に発信しています。

「江戸時代の絵巻物には、広峰神社(千種一丁目)の祇園祭と八幡神社(男山)の放生祭がひとつだったころの祭礼の様子が描かれていて、そこには雲浜獅子の姿もあります。これらが再び集結する場を作ることが夢」と話す矢野さん。「全国でも珍しい、多種多様な出し物が特徴の『小浜の祭り』。その魅力が日本中にPRしたいです」と、熱意に満ちた表情で語ります。「2025年5月2日(祝)・3日(祝)の2日間、宮入りや地区内の巡行を行います。ぜひ見に来てください!」



美術部 部長
田中 紀衣 さん
 (若狭高校3年生)

夢への道は一つじゃない

3年生7人、2年生5人が所属する若狭高校美術部。展示会やコンクールに向けた作品作りや、地域や事業所の依頼に応じたデザインの提供など、さまざまな活動を行っています。部長の田中さんは主に水彩画を制作。現在は、7月に開催予定の卒業作品展に向けて、作品作りに励んでいます。「部員たちの創作分野は、絵画や切り絵、粘土造形などバラバラで、活動も好きな時に来て好きな時に帰る『フリースタイル』な部」と話し、「部室でそれぞれ創作をしながら、みなでおしゃべり

べりをして盛り上げられる、とても居心地の良い部です」とほほ笑む田中さん。絵のほかに音楽も好きだという田中さんの夢は、「何かしらの形で音楽に関わる仕事に就くこと」。受験生として進路に悩む中で、「先生をはじめ、いろんな人に相談した」と言い、「グッズのデザインやイベントの企画など、『音楽に関わる道は一つじゃない』と思った。今は、美術系の大学に進み、さまざまなデザインを学んで将来に生かしたいです」と決意を語ってくれました。



地域おこし協力隊おススメ

小浜百景

第43回

はんじょうじ 飯盛寺

飯盛寺は、ただがたけ、あおばさん、多田ヶ岳、青葉山と並ぶ若狭三山の一つ、飯盛山の中腹に建っています。

飯盛寺を紹介してくれた加斗公民館長の木村さんによると、ほかの地域の方は、同じ『飯盛』でも、山は『イイモリ』、寺は『ハンジョウ』、地域は『ハンセイ』と、さまざまな読み方があることにとても興味が湧くようです。

実際に訪ねてみて、私が特に魅力的だと感じたのは、シンプルながらも美しいかやぶき屋根です。明治40年に一度、波形の瓦を用いる「^{さんがわらぶき}棧瓦葺」になったあと、平成7年に再びかやぶきに戻されたというこの屋根。桜の薄桃色とのコントラストは、今も美しい姿を見せてくれています。



【アクセス】
小浜市飯盛 145-1
JR小浜駅から車で16分
小浜西ICから車で9分

【文と写真】
地域おこし協力隊 オカモト



特発性正常圧水頭症の特徴チェックシート

- 認知症の症状
 - 物忘れが多くなってきた
 - 一日中ぼんやりと過ごすことが多い
 - 呼びかけに反応が遅くなった
 - 声小さい、表情が乏しくなる
- 歩行障害
 - 小刻み・すり足で歩く
 - 足を開き気味に歩く
 - 不安定で転倒することがある
- 尿失禁
 - 気がついたら失禁している

手術で治せる認知症 “特発性正常圧水頭症”

特発性正常圧水頭症による認知症 認知症の原因の1つに特発性正常圧水頭症（iNPH）があります。原因が特定されず水頭症（脳に髄液が余分にたまる状態）になり、認知症・歩行障害・尿失禁などの症状が現れます。ペンギンのような「小刻みなガニ股歩行」が特徴的です。次のチェックシートに2つ以上当てはまる場合は、頭部MRI検査での精密検査をおすすめします。

健康生活のびら



杉田玄白記念 公立小浜病院
■問い合わせ 52・0990

脳神経外科
根石 拓行 医師

手術で治せる認知症

iNPHは、発症からおおむね3年以内であれば、手術で約70%の人の歩行障害や認知症が改善します。従来の手術では脳の中にチューブを差し込んでいましたが、小浜病院では脳を直接触らずに治せる手術（腰椎腹腔シヤント術）を行っています。傷口は腰部、腹部、側腹部の3カ所の小さな傷だけです。

認知症患者の5%がiNPH

iNPH患者は、認知症患者の5%程度いるとされています。高齢者の5、6人に1人が認知症と仮定すると、市内には50人以上の患者が潜んでいることとなります。近年、小浜病院でiNPHに対する手術を行った数はわずか十数例しか無く、まだまだ多くの患者が身近に潜んでいると考えられます。「がに股歩行・小刻み歩行の認知症」の症状がみられるなど、疑いがある場合は、脳神経外科に相談してください。



▲平成元年1月号表紙

平成31年4月1日に新元号「令和」が発表され、5月1日から令和元年がスタートします。そこで今回、64年1月7日を最後に「昭和」の時代から変わった「平成」元年を、当時の『広報おばま』の記事と写真で振り返ります。

「広報おばま」で振り返る 小浜のあの時 平成元年



①【3月号】大型観光キャンペーンイベントとしてSLを誘致 ②【6月号】県立図書館若狭分館オープンを今富小広報委員がリポート ③【10月号】県立大学小浜キャンパスの設置が決定



④【8月号】昭和63年に開場され海水浴客でにぎわう鯉川シーサイドパークなど ⑤【12月号】ふるさと創生事業の計画概要が決定 ⑥【2月号】近畿自動車道の敦賀-舞鶴間を「建設を開始すべき路線」と位置づけ ⑦【5月号】内外海小学校の土地造成工事が開始 ⑧【11月号】海王丸が小浜湾に入港

「広報おばま」の主な掲載記事

平成元年 1989年

- 2月号 近畿自動車道敦賀線の敦賀・舞鶴間(72km)全線が基本計画に格上げ⑥
- 4月号 8年ぶりにSL機関車が臨時急行列車として小浜線を運行①
- 5月号 阿納尻、堅海、矢代小学校の3校を統合した内外海小学校の造成工事が着工⑦
- 6月号 県立図書館若狭分館(現・若狭図書館学習センター・南川町)が完成②
- 8月号 環境庁(現・環境省)が行った全国航空継続観察で若狭高校理化学研究部が観察員となった本市が宮崎県の3市町村に続き4位入賞
- 10月号 県立大学生物資源学部の海洋生物資源学科の設置が決定③
- 11月号 嶺南初の3年制看護専門学校「公立若狭高等看護学院」が平成2年4月の開校を目指して建設工事が進められる
- 11月号 桑田テント(千種一丁目)製作の帆が張られた運輸省(現・国土交通省)の練習帆船・海王丸が小浜湾に入港⑧
- 12月号 平成2年1月から毎月第2、第4土曜日は市役所を閉庁
- 12月号 「マーメイドテラス建設事業」など平成2年度から11年度まで取り組む市のふるさと創生事業「海に抱かれた歴史と文化のまちづくり」の計画概要が決定⑤